

## 第144回 豊橋市都市計画審議会議事録

1. 日 時 令和8年2月25日（水）午後1時30分から午後2時30分まで
2. 場 所 豊橋市役所 東館8階 東86会議室
3. 案 件 第1号議案 豊橋市都市計画マスタープラン2021-2030改訂（素案）  
について
4. 報 告 報告事項1 豊橋市都市計画マスタープラン2021-2030中間評価  
について  
  
報告事項2 震災復興都市計画と事前復興まちづくりについて
5. 出席委員 14名  
第1号委員 浅野 純一郎委員、三輪 多恵子委員、  
岩ヶ谷 光晴委員、神藤 文代委員、駒木 伸比古委員、  
前田 裕子委員、柳原 茂委員  
第2号委員 星野 隆輝委員、田中 敏一委員  
第3号委員 清永 芳弘委員の代理で高橋 一嘉様、鈴木 節子委員、  
林 克行委員、高見 泰彦委員、吉見 正樹委員
6. 欠席委員 3名  
小林 和夫委員、松岡 孝子委員、夏目 真季委員
7. 審議会の結果  
第1号議案 原案のとおり承認
8. 事務局 金子都市計画部長  
(都市計画課)  
佐藤課長、近江主幹、鈴木主査、吉田主任
9. 議事の概要
  - ・出席委員が過半数に達したため審議会の成立が確認された。
  - ・今回の議事録署名人に三輪 多恵子委員と岩ヶ谷 光晴委員が指名された。
  - ・議案の審議内容・過程において、運営規則に定められた非公開事項に該当する恐れのあるものが含まれていないことを確認の上、議案を審議した。

### 第1号議案 豊橋市都市計画マスタープラン2021-2030改訂（素案）について

第1号議案及び報告事項1については内容が関連するため、次の要旨で一括説明され

た。(説明者：事務局)

- ・都市計画マスタープランでは、それぞれの目標像について、その達成度を定量的に把握し、進捗管理を効果的・効率的に行うため、上位計画である豊橋市総合計画や関連計画などに定められた指標を、参考指標として、4つの目標像ごとに設定している。この中間評価は、計画期間10年のうちの5年間の取り組みを振り返り、まとめたものである。
- ・4つの目標像ごとに掲げる参考指標の中間評価を踏まえると、都市計画マスタープランで定める基本理念の実現に向けた都市づくりは着実に進んでいると考えている。
- ・都市づくりには長い年月が必要であることから、2030年度に向けては、本市の施策方針や国の政策動向などを踏まえ、将来の都市構造や分野別方針を見直し、現行の都市づくりの基本理念、4つの都市の目標像及び基本方針に沿って、引き続き目指す都市の姿の実現に向けて進めていく。
- ・改訂素案について、都市づくりの目標像と基本方針は、基本的な内容は改訂していないが、一部、豊橋新城スマートインターチェンジ(仮称)などについて追加している。
- ・将来都市構造図については、豊橋新城スマートインターチェンジ(仮称)周辺の計画に合わせ、北部地域に広域交流拠点や工業系地域の記載を追加した。また、浜松湖西豊橋道路のルート帯が示されたため、浜松湖西豊橋道路のルート帯及び新設するインターチェンジとジャンクションの概ねの設置位置案を記載した。
- ・立地適正化計画の方針については、令和5年度に防災指針を公表したことを受け、その内容を追加した。
- ・分野別の方針については、豊橋新城スマートインターチェンジ(仮称)及び多目的屋内施設に関する記載の追加をはじめ、土地利用や公共交通、道路の分野など、各分野の内容を一部更新した。
- ・計画推進に向け、まちづくりDXの推進等を追加した。
- ・4つの目標像ごとに設定している参考指標については、豊橋市総合計画後期基本計画に定められる予定の指標を使用していることから、一部の参考指標を更新している。

説明終了後、以下の点について質疑された。

#### 委員

中間評価において、良好な景観形成の助言件数とあるが、助言とは具体的にどのようなことをするのか。

#### 事務局

豊橋市景観計画ではエリアごと景観形成基準をもっており、建築物の新築や外観を変更するような修繕など、一定規模を超える建築行為に対し、事前協議や届出の提出が必要となり、こうした申請の内容について意見を付すなど助言をしている。具体的には外壁や屋根などの色について、周辺と調和のとれた色にするといった内容である。

#### 委員

中心市街地整備の分野では色々と書かれているが、もっと具体的な取り組みを聞きたい。

#### 事務局

例えば、リノベーションまちづくりでは、まちなかの遊休不動産をリノベーションにより活用し、魅力ある場所を創出する事業であり、出店事業者への家賃補助などの支援や空き物件ツアーの開催によるマッチング促進などの取り組みがある。実際の活動を通じて、魅力あるお店の増加や水上ビル等での水上ビル朝市などの取り組みが生まれている。こうした取り組みを進めていきたいと考えている。

#### 委員

景観について、最近、ガードレールの色彩が白ではなく茶の箇所が見受けられる。安全性を考えると白であるほうが良いと感じるが、警察のご意見を聞きたい。

#### 委員

これまでは白のものばかりであったが、現在は様々な色彩のものが存在している。そもそもガードレールの役割は自動車と歩行者を分離するなどのためのものであり、色彩に対する規定はない。また、場所によってはガードレールに反射板を付けて視線誘導を促す役割を担っているものもある。ガードレールの色彩が茶であることについては、道路交通上の安全性を損なう要因とはならないと思われる。

#### 委員

目標像2の参考指標として、新たに「完成輸入自動車の取扱台数」を設定しているが、この参考指標がどのように市の活気とにぎわいにつながるのか、この参考指標を設定した理由について伺いたい。

#### 事務局

三河港は、平成5年から連続で完成自動車の輸入台数及び金額が日本一で、輸出でもトップクラスを誇るなど、日本を代表する国際自動車港湾である。明海地区では現在、輸入自動車保管用地確保に向けた埋立事業を行っており、これまでも埋立事業完了後には区域区分や用途地域、臨港地区の都市計画決定を行っている。「完成輸入自動車の取扱台数」は、こうした三河港臨海部等の工業系地域の土地利用について、工場の生産環境の維持・保全と利便性の向上を図るなどの成果を客観的に把握する参考指標として設定している。

#### 委員

改訂素案では、現行計画で設定している参考指標を一部更新しているが、その理由について伺いたい。

#### 事務局

この参考指標は、総合計画や関連計画で定められている指標を用いており、当該指標を使用することにより、総合計画と一体的に都市づくりが進んでいるか確認をしている。上位計画である総合計画において、一部の指標の見直しを図ったことを踏まえ、都市計画マスタープランにおいても、改めて各目標像に適切な指標を検討した結果、一部の参考指標を更新することとなった。

#### 委員

目標像2の指標についてはこれでいいと思うが、まちなかのぎわいを測る指標としては、まちなか広場のイベント回数や稼働率で測ることもいいと思う。

#### 事務局

まちなか活性課ではイベント回数やまちなか広場の利用状況を把握していると聞いている。イベント回数やまちなか広場の稼働率についても必要に応じて、参考にしていくものと考えている。

#### 委員

目標年次の令和12年度に向けては、多目的屋内施設の整備が最も大きい話題になると思うが、それに関連する記述について改訂素案にはどのように記載されているのか。

#### 事務局

主なものとして、P67の市街地整備の分野において、「整備を進める多目的屋内施設などのぎわいの拠点と拠点とを結ぶ通りなどにおいて、居心地がよく歩きたくなる空間形成を図る」とし、中心市街地のぎわいづくりにつなげるような記載をしている。また多目的屋内施設開業時の移動手段の確保という点で、「多様な交通手段におけるまちなかの交通環境の向上に取り組みます」としている。

#### 委員

まちづくりDXということで、今回3D都市モデルについて追加したとのことであったが、そのうち活用促進の取り組みについてどのようなことを考えているか。

#### 事務局

3D都市モデルを知ってもらい、活用してもらうための取り組みとして、商工会議所において事業者向けに説明を行ったり、大学で学生向けにパソコン操作をしながら学ぶ講座を開催したりするとともに、エンジニア向けのイベントを開催するなど活用促進に取り組んできた。今後もこうした活動を継続するとともに、より若い人にも知ってもらえるよう、中学校での出前授業を検討するなど取り組みの拡大に向け進めている。

会長

審議会としての答申をまとめる。

第1号議案 豊橋市都市計画マスタープラン2021-2030改訂（素案）

原案のとおり承認することでご異議はないか。

全委員

異議なし。

会長

異議なしと認め、第1号議案は承認された。

## **報告事項2 震災復興都市計画と事前復興まちづくりについて**

報告事項について説明した。

（説明者：事務局）

会長

それではこれにより審議会を閉会する。